

平成31年新成人 誓いの言葉

本日は私たち新成人の為にこのような盛大な式典を催していただき、誠にありがとうございます。また、谷ヶ崎市長をはじめご臨席くださいました皆様、そして、この日の為に準備や運営に尽力してくださいました皆様にお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

私たちは、多くの大人に見守られ、ここまで成長することが出来ました。今日ここに集い、笑顔で成人式を迎えることが出来たのは、常に私たちを支え守ってくれた両親や親族、これまで教えを導いてくださった小・中学校の先生方、いつも私たちの成長を温かく見守ってくださった地域の方々、そして何より共に歩んだ友人たちをはじめとする多くの方々のおかげと深く感謝申し上げます。

私たちが生きてきたこの20年間、世界や日本で様々な出来事がありました。日本において、東日本大震災では、多くの命を奪われ、復興に向けての取り組みが今でも続けられています。それ以降も日本各地で大きな災害が続き、現在も被害に苦しむ人が見られます。

そんな中、希望のあるニュースもあります。それは、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催です。日本のおもてなし精神が世界から目を向けられ、産業やサービスの質がますます向上していくでしょう。また、「復興五輪」とも掲げられ、復興はもちろんこれを機に政治や経済など、これからの日本のあり方が変わっていくことでしょう。しかしこれからは、このような変化を私たちが作っていくものとなります。

世界は誰かの仕事で出来ている。と、言われます。私たち一人一人は社会を動かす小さな歯車です。歯車は一つでは意味を成しません。他の歯車と噛み合うことで、動力を生み出していくのです。そして、一つ一つが決して欠けてはならない存在となり、やがて世界を動かしていくのです。

私は現在、大学で音響について学んでいます。私たちは生まれた時からいろいろな音に囲まれ、育っていきました。悲しいときは励まされ、楽しいときは歌って踊って。音響による影響力はとても大きなものです。しかしこの大きな影響は多くの人のおかげで、私はその中の一人として携わっていたらと思います。そして、聞く人の心に響き、寄り添えるような音を作っていたらと思います。

さて、私がこうしてここに立っているのは、日高市で苦楽を共にした素晴らしい友人たちとの出会いのおかげです。この出会いが多くの経験となり、自分の力や自信へとつながっていきました。これからきっと多くの困難が待ち受けていることでしょう。その困難を乗り越えられる力を友人たちが与えてくれました。そんな友人たちを大切に、年をとっても笑い合えたらと思います。

最後になりますが、今日まで見守ってくださった多くの皆様に感謝し、日高で育ったことに誇りを持ち、これからの人生をたくましく生きていくことをここに誓い、新成人代表の言葉とさせていただきます。

平成31年 1月13日

新成人代表 松本和希